

軟 式 野 球

- 1 開催期日 令和3年7月24日(土)・25日(日)・26日(月)
- 2 開催場所 三田川中央公園野球場 中原公園野球場 千代田グラウンド
- 3 実施要項

- (1) 日 程
- | | | | | |
|-----|--------|--------|--------------------------------|-----------------------|
| 1日目 | 24日(土) | 8時00開場 | <u>開会式は実施しない。</u>
9時00分競技開始 | 1回戦 |
| 2日目 | 25日(日) | 8時00開場 | 9時00分競技開始 | 準々決勝 |
| 3日目 | 26日(月) | 8時00開場 | 9時00分競技開始 | 準決勝, 決勝
<u>表彰式</u> |

競技開始時刻は予定であるので、時間の繰り上げもある。また、同一チームが連続して試合を行う場合の2試合目の開始時刻は、1試合目終了から40分後を原則とするが、天候によっては大会本部で判断することもあるので、この限りではない。

- (2) 競技方法 トーナメント方式による。
- (3) 参加資格 ①佐賀県中学校総合体育大会開催基準に準ずる。
②各地区代表校とする。但し別に定める大会(佐賀県中学軟式野球大会(マルエス旗))で上位4チームが所属する各地区に競技力向上特別枠として参加資格を与える。
- (4) 参加制限 チーム編成は、監督1名・選手18名以内(スコアラー含む)とする。また、この他に教員を2名追加することができる。ただし、外部指導者(コーチ)が入る場合は1名とし、21名以内とする。

(5) 大会規則

- ① 2021年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟取り決め事項に準ずる。
- ② 九州中学校軟式野球大会実施要項に準ずる。
- ③ 佐賀県中学校総合体育大会規則(申し合わせ事項)による。

ア 監督は当該校の教員とする。当分の間、当該校の教職員・部活動指導員でもよい。教員以外のコーチは、校長の認めたものとする。

1日目は1回戦8試合(3会場)、2日目は準々決勝4試合(2会場)、3日目に準決勝・決勝(1会場)を行う。

第2試合以降のチームは1時間前に会場入りし、本部へ到着した旨を伝える。

イ 5回以降7点差がついた時はコールドゲームとする。

ウ 7回を終了し、同点の場合は勝敗を決するまでタイブレーク方式を行う。継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、無死1、2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、選手交代は許される。ただし、決勝戦は9回までに決定しない場合は両者優勝とし、九州大会の代表出場順は、最終出場者9名全員による抽選とする。(抽選カードは専門部で準備する)決勝戦以外は、勝敗が決定するまでこれを継続する。

エ 規則 5.10 (d) 原注(投手は1イニングで投手以外の守備に2度以上着くことは許されない。)規則 5.10 (l) (2) (1イニングに投手へのアドバイスのためのタイムが2回取られた場合、自動的に投手交代となる。)は本大会では適用しない。

- オ 監督が投手のところへ行く回数の制限 (5.10(0)関連)
監督が1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレークは、1イニングに1回行くことができる。
- カ 守備側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、1試合に投手のところに行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレークは、1イニングに1回行くことができる。
- キ 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイブレークは、1イニングに1回とする。
- ク 試合球は本部で準備した、全日本軟式野球連盟公認球M号球を使用する。
- ク シートノックは実施しない。(試合開始20分前に用具チェック、マナーチェックを行う)
- コ ベンチは若番を1塁側とする。(ファウルボールはベンチ側で拾う)
- サ 疑義することができるのは、監督または当該プレーヤーとする。
- シ 監督は、チームと同一のユニフォーム、同一同系色のスパイクか靴を着用し、背番号30をつける。コーチの服装は、チームと同一のユニフォーム(同一同系色のスパイクか靴を着用し、背番号29・28のついたもの)か平服(白を基調としたポロシャツ、選手と同一の野球帽子)とする。(ただし、ノックをするものはユニフォーム着用のこと)
- ス 登録選手の背番号はポジションどおりとし、1番～18番までとする。
- セ 申込の記載選手を以って登録選手とし、変更の場合は1日目の受付け時までに大会本部へ届け出る。
- ソ ベンチには、監督・コーチ・選手以外は入ることができない。
- タ 攻・守の交代は敏速に行い、投手はプレート上で捕手のサインを受け、時間の短縮に努める。
- チ バッターがサインを見る場合はバッターボックス内で見える。
- ツ 打者、走者、次打者、ベースコーチは両耳ヘルメットを着用する。
- テ 捕手は、ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップを着用する。
- ト スパイクに関しては、令和3年度までは、高校野球に対応した黒色スパイクと白色スパイクとの混在を可とする。
- ナ ストッキングは、ローカット、普通カットを使用する。チームで統一する。
- ニ ベンチ内でのメガホンの使用は1個に限る。
- ヌ リストバンド、バットリング、マスコットバット、スプレー、手首サポーターの使用を禁止する。
- ネ 投手の球数制限を適用する。(大会期間中)
1日100球 5日間350球
ただし、試合中に到達した場合は、その打者の打撃が完了するまで投球できる。

(6) 表彰

- ① 優勝校に賞状および優勝旗を授与する。
- ② 第2位、第3位に賞状を授与する。

(7) その他

- ① 参加料(一人500円)を大会申込書に添えて各地区理事長に持参する。
- ② 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、別に大会本部が定める感染症対策に則り、実施する。